



歴史でつながる平泉と国見

～つながりを育んできた17年～

平泉町と国見町をつなぐ大きな歴史的出来事が、1189（文治5）年、源頼朝率いる鎌倉方と平泉藤原氏が戦った「奥州合戦」です。鎌倉方の侵攻を防ぐため、平泉藤原氏は国見町の阿津賀志山の麓に、約3.2kmに及ぶ巨大な防塁を築きました。二重の堀と三重の土塁からなる「阿津賀志山防塁」は、平泉藤原氏が安寧を願った東北を守るための防衛線であり、この地では奥州合戦最大の激戦とされる「阿津賀志山の戦い」が繰り広げられました。

800年以上前の歴史によって結ばれた両町の縁は、時を越え、現在の交流へと受け継がれています。

●源義経のつながり

- ・平泉町の「藤原まつり」に国見町長を例年招待
- ・国見町の「義経まつり」に平泉町長を例年招待

●中尊寺蓮のつながり

- ・平成21年 中尊寺から国見町に中尊寺蓮が株分け
- ・平成23年 阿津賀志山防塁に隣接する3aに移植
- ・平成30年 蓮池と阿津賀志山防塁の一体的整備計画
- ・令和3年 「（一社）二重堀サポートネットワーク」設立
- ・令和3年 「あつかし千年公園」完成



教育・文化交流



●水かけ神輿

- ・国見町の小中学生と教育長が参加
- ひらいずみ遺産塾
- ・令和7年7月 遺産塾19人と教育長が国見町に来町

災害支援



●災害復旧支援

- ・令和3年、令和4年に震度6強の地震に見舞われた国見町に対し、令和4年4月に平泉町が2週間応援職員を派遣

物産販売交流



●くにみ産業祭、道の駅くにみ大交流フェスタなど（平泉町→国見町）

- 第50回産業まつり、道の駅平泉で桃PR販売

歴史をつなぎ、未来へつなぐ — 二重堀サポートネットワークからのメッセージ —



平泉町との協定締結おめでとうございます。中尊寺から蓮の株分けを受けて17年が経過し、この間の育成管理を町からの委託・補助を受けて実施してきました。平泉における平和の精神や震災復興の願いが込められた蓮を毎年美しく咲かせることで、あつかし千年公園には多くの方にお越しいただいています。両町のがつながりが益々深くなるよう、我々も活動を継続していきます。

←中尊寺蓮の栽培を通じて両町のがつながりを深めてきた氏家博昭理事

歴史が結ぶ縁を、未来へ



平泉町・国見町



「歴史文化交流協定」を締結



↑（左上から）吉野新平教育長（平泉町）、鈴木伴承副町長（国見町）、石幡良子教育長（国見町）
（左下から）高橋拓生議長（平泉町）、青木幸保町長（平泉町）、村上利通町長（国見町）、山崎健吉議長（国見町）

平泉町と国見町は、豊かな自然や多くの歴史的・文化的遺産が現代へと受け継がれています。多くの魅力を有する両町が、歴史・文化面を中心とした交流を推進することで、関係人口の増加を図りながら文化振興、地域活性化で持続可能なまちづくりを目指すことを目的に9月23日の義経まつり当日に「歴史文化交流協定」を締結しました。

今後の主な交流事業

歴史を活かした町PR交流事業

- ・両町の公共施設「平泉文化遺産センター」と「あつかし歴史館」で歴史資料などの相互展示

文化財調査成果に関する交流事業

- ・両町の発掘調査成果などに関する報告会や講演会の相互開催

町民同士の交流事業

- ・両町の各団体などが視察研修などで訪問し交流

伝統芸能の継承に向けた交流事業

- ・両町の伝統芸能活動などの相互公演

文化遺産等に関する子どもたちの交流事業

- ・ひらいずみ遺産塾の受入れ（国見町）
- ・水かけ神輿などへの参加を受入れ（平泉町）

特産品販売交流事業

- ・両町の特産品を道の駅などで相互販売